

THE  
JAPAN  
INTERIOR  
DESIGNERS'  
ASSOCIATION

JID

no. 64

1974 Mar. 1st.

昭和49年3月1日発行

目 次

|                      |    |
|----------------------|----|
| 大衆のインテリア             | 1  |
| 中部のニュース              | 2  |
| だんわしつ                | 6  |
| ニッポン グッド デザイン ショー'73 | 8  |
| かるてつと                | 10 |
| 編集後記                 | 12 |

大衆のインテリア

副理事長 渡 辺 優

インテリアという言葉が一般化してまだ何年もたっていない。しかしこの外来語は大変な元気のよさで、世の中をかけめぐっている。あれよあれよという間に、「インテリア大バーゲン・セール」などという広告がやたら目につくほどの売れっ子ぶりである。

インテリアつまり「内」という意味を本質的にとらえようとしていた真面目で、ちょっと融通のきかない本格派を自認するデザイナーたちは、このところ憮然として傍観気味である。「インテリアはかくあらねばならない」と少しばかり叫んでみたところで、もはやどうにもなりそうにない。

最近あまり使われなくなったが、大衆音楽のことを軽音楽という。インテリアも大衆の関心を集めるようになって、「軽インテリア」とでも呼んでよいようなものが多くなっている。インテリア産業の大半は軽インテリア用品ということになるのも、ごく当たり前

の現象であろう。だが、こういう状態が急速にあらわれてきたため、デザイナーたちも何となくその実態を冷静に判断できないきらいがあるようだ。軽インテリアに対する純インテリアとでもいうべきものに志向する本格派デザイナーの中にはややヒステリックにこの有様をなげく人もいる。だが、天地真理だ、森進一だといっている人たちにショスタコーヴィチだ、シェーンベルクだといったところでしらせるばかり、またどっちもいいじゃないかという人がいても文句のつけようもない。ただ、できることなら、いくらかでも良質のもの、本格的なものを理解し、関心をもってほしいということではあるまいか。

一方で、軽インテリアが全くのデタラメなものにならないためには、やたら商業主義に振り廻されるばかりでない有能な軽インテリア・デザイナーやデコレーターが出てくれることがのぞましい。その点現在氾濫している軽インテリアの構成役をしている人たちの大半に、作曲法のABCも知らない人が作曲をしているようなところがある

のは確かに問題であろう。

こういうたとえや分類はやや乱暴かもしれないが、当協会はどちらかといえば純インテリア派が主流だといえそうだし、業界などでもそういうとらえ方をしている人が少なくないように思う。だとすると、協会員の中で何人が完成度の高いデザインをすることができ、本質を理解しているかが問題だが、それはともかくとして、本当に大衆の生活を考えることのできるいわば一流の軽インテリア・デザイナーがもっともよさそうにも思われてくるのである。

協会賞は強いてたとえれば芥川賞的な方向だが、直木賞に当るようなものがあってもいい。広く大衆の求めているものは何かをとらえる姿勢は、インテリアという流行語を本当に定着させるために欠かせないものではないだろうか。

ベルシャトゥ南山新築工事

松 本 政 雄

この高級分譲マンションは、名古屋市瑞穂区田辺通に昭和47年3月完成したベルシャトゥ瑞穂に次ぐ第2回目のもので、名古屋の市街地の夜景を一望できる瑞穂区南山町に48年7月末完成する事ができた。

“ヨーロッパの王城を想わせるホワイトマブルの館”というキャッチフレーズにふさわしい優雅な外観、および最善の居住性を持ったインテリアをつくる事に重点をおいた。

本館南西にロビーハウスを設け、このロビーからは本館南面および庭園を一望にでき、静けさと落ち着きのある雰囲気は各住人の簡単な接客の場として、また住人全体の交流の場として大いに役立つと思う。

各住宅内は一般のマンションと室数としてはあまり変わりなく、スタンダードなタイプでは、南側にリビングルームと、それに続くダイニングキッチン、リビングルーム横に和室、北側に2つの寝室、他は洗面浴室、トイレ、ユーティリティという間取りである。しかし、それぞれが充分余裕あるスペースを持ち、ゆったりした優雅が生活をするのに適している。特にロイヤル

タイプというこのマンションで一番大きいタイプのリビングルームは、40平方メートルの広さを持ち、一角にバーコーナーを備え、“パーティールームを兼ねたリビングルーム”という施主側の夢を実現するにふさわしいインテリア＝床にジャギーを敷きつめ、壁はベルギー製クロス貼、そして豪華なシャンデリアと、どの一つをとってもこの高級マンションの象徴といえる。

その他、一般のタイプの室内でも、寝室のドレスキャビネット、天井の廻り子、腰板、巾木を全部白で統一し、壁はクロス貼、床カーペット敷、天井クロス貼および淡い色調のビニールペイント仕上とし、各室それぞれに豪華なシャンデリア・ブラケットを取付けてあり、優雅なたたずまいを基調としたヨーロッパ調デザインで統一している。

「居住性と優雅さを重点に」との目的をはば達する事ができたように思う。

最近の仕事に思う

安 藤 清

一期間興隆をきわめたボーリング場も当中部地方もご多聞にもれず下降の一途をたどり転業化が目立っている。インテリア関係にたずさわっていて、このような世情に押し流される事はやむをえないとしても、その作られた虚飾の上で踊らされている僕等の地位にも問題があるように思う。

この一、二年確実に頭角を出して来たものとしてレストラン産業の進出はめざましいものがある。ここにあげる2件のレストランをその好対象として提示する。

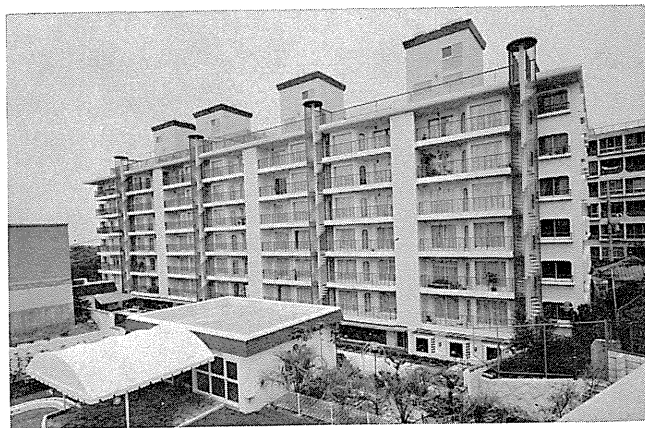
2店同時オープンしたステーキハウス“ガリバー”は当地方にも多数店舗を持つ知多加チェーンの郊外レストラン進出の第一弾で“ガリバー旅行記”の著者ジョナサン・スウィフトの活躍した十七世紀初期の室内調度でまとめあげたクラシックムード溢れるレストランを形作っている。

一方、駅前に建築が進められている名古屋ターミナルホテルの直営レストランとして名古屋で始めて、シチューの専門店“詩厨屋”がこの夏OPENした。この店はあったかいシチューを即座に台所でいただくイメージを極力

▼ベルシャトゥ南山 別館



▼ベルシャトゥ南山 本館



マルティシリーズ開発について

宇賀 敏 夫

今年度のインテリアデザイナー協会賞を受賞したマルティシリーズの開発について御紹介しましてインテリアデザイナー諸氏の何かのお役に立てば幸いです。名前（ペットネーム）の如くマルティシリーズ（英語の MULTIPLE “多用途” からとる）多用途のいすのシリーズを市場性、生産性を一挙に解決して、総合された美しさを求めようと言う意図のもとにフリーデザイナー長岡貞夫氏に依頼したのである。長岡氏は長年アメリカに滞在の経験から、日本市場に不足して、またマッチするものは何かと鋭く分析企画されました。シリーズ性を満足させるためには

機能的に充分検討されねばならない。無理の無いノックダウンシステムの採用からフレーム類（脚部及シートモタレ部）にはアルミダイキャストを材料として用い精度を求めた。シート、モタレ部にはプラスチックの P.P インジェクション成型品を使い人間工学的な追求を行い、アルミのフレームと P.P のモタレシート部との嵌合は技術的に相当細く検討を加えた。スタンダードのいすとしてストレートチェアには、スタッキング、ギャンギング（連結）機能を兼備したものが基本タイプとなり、肘やメモ台はアタッチメントにより取付けられる。ベンチタイプ、回転いすタイプ、床にフィックスするタイプ、あるいはリターンバック装置付の回転いす……、それぞれの裂地、ビニール色は規格色として16色を加え、どのようなインテリア（市場）にも適合するようにデザイン計画をしました。機能は簡単に解決されるのが最上であるが、それには充分計画された精度の高い材料と加工技術の保障がなければならない。意匠、新案、特許合せて23件の出願、これからも充分満足されるように改良を加えて参りますので、どうぞよろしく御批判下さい。



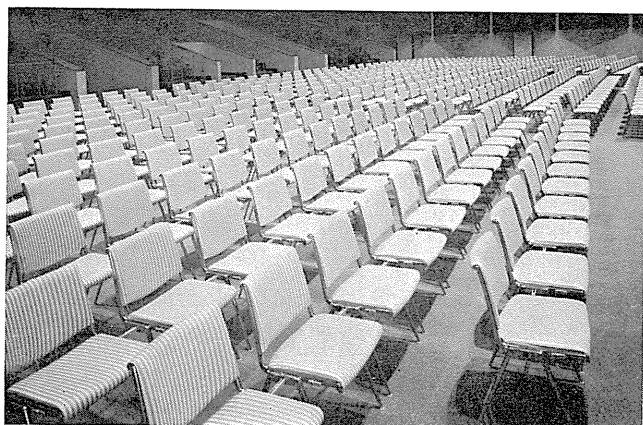
▲レストラン「詩厨屋」

ニュートラルにとらえ、その“土俗さ”を土壁の中に見出し、その骨格化をこころみた。前記のように家具什器にいたるまで時代的考証に依って、（むろん本場買付）型作る場合と、後記のように観念により型作る場合と二面性を持たない限りこの多様化した時代世相には対処出来ないと思う。

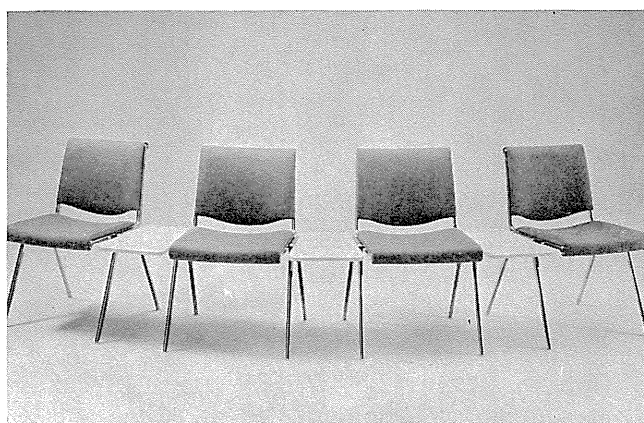
▼マルティ スイベル チェアー



▼マルティ ストレート チェアー（大学医学部ホール）



▼マルティ ストレート チェアー（ギャンギングテーブル付）



## 金 沢 よ り

岡 嶋 敏 弘

金沢市武蔵ヶ辻再開発ビル“金沢スカイビル”が去る10月1日に完成した。このビルの規模は、地下2階、地上18階、延63,000㎡の高層ビルである。その内の、26,000㎡を百貨店が、12,000㎡をスカイプラザと名付けられた、専門店街が、そして、7,800㎡を、金沢スカイホテルがそれぞれ区分所有している。われわれ中央設備エンジニアリング㈱インテリア部は、わが社の技術部門が設備工事を担当した関係もあって、百貨店ならびにホテルから設備と密接な関連のある喫茶、レストランのインテリア工事ならびに厨房設備の計画から施工までの依頼を受けた。

百貨店では、各階の売場内に憩いの場を顧客に提供する喫茶施設ならびに8階にレストラン6店舗を設けて食事を提供する場を、そして9階屋上に遊園設備を設けた。またホテルでは地上1階ホテル用エレベーターホールの雰囲気と気品を醸し出し、複合ビル内にある、ホテルの弱点ともいふべき、連続性を確保する課題を与えられて、ホールに接する一般飲食店街と調和を考慮しながらパブリックバーを設けるとともに、ホテルの主厨房からパントリーまでの厨房設備を、多くの方々のご協力を得て2カ月という短期間で完成した。百貨店、専門店の設備は下記の通り。

## 百貨店部門

|         |                         |
|---------|-------------------------|
| 店内照明    | 地下1階 1,000lx            |
|         | 1 階 1,000lx             |
|         | 2階以上 600lx              |
| コンセント容量 | 地下1階40VA\M <sup>2</sup> |
|         | 1 階80VA\M <sup>2</sup>  |
|         | 2階以上40VA\M <sup>2</sup> |

## 専門 店

|               |                          |
|---------------|--------------------------|
| 店飾容量（電灯コンセント） |                          |
|               | 地下1階120VA\M <sup>2</sup> |
|               | 1・2階200VA\M <sup>2</sup> |

## 石川県産業デザイン展

小 松 亮 一

未来を志向するデザインに対する取り組み方の中に文化の資質といったものを直視し認識する必要性を痛感するとき、地方産業の振興を目的に過去12回続けられてきた、石川県産業展も昨年より、名称、組織を一新、地域社会に対する広範な生活環境や、伝統的産業への理解を深め積極的な開発を目的とし、個性ある産業デザイン展を企画している。

本年は特にデザインイヤー協賛ということで、デザインの重要性を広く認識させる為、各部門にテーマを選定させ親しみをもたせて見た。

主催 石川県、金沢市、石川県デザイン協議会

期日 11月10日～11月13日

会場 石川県産業会館

## 各部門テーマ

- インテリアデザイン  
対話の生れるインテリア
- クラフト デザイン  
つくる心 使う心
- ビジュアルデザイン  
心のコミュニケーション
- 繊維デザイン  
より美しく装うために
- 建築  
ゆたかな街造りと建築

上から2枚

石川県産業デザイン展会場

下から2枚

金沢スカイビル百貨店部門レストラン

ほんとうの質の問われる年

葭 原 基

デザインイヤーの期間中に計画されたデザインに関するあらゆる事業が、あと僅かで終わろうとしている。

世界的なデザイン運動の推進機関である国際インダストリアルデザイン団体協議会の第8回総会も日本で開かれ、世界40ヶ国より1,500名のデザイナーとデザイン関係者の参加を見、また会議に於いては『人と心と物の世界』というメインテーマのもとに、精神文化と物質文明をデザインというトータルな視点をとおして、今日の日本の姿を討議したことは、まことに要を得たものと思う。また本年は特に国、地方庁、デザイン振興団体、デザイナー団体の主催する展示会、セミナー、コンクールなどの協賛事業も多く行われ、デザインイヤー運動の主旨を広く全国に伝え、この運動に対する理解と、人びとの直接間接の参加を生みつつあることはまことにうれしいことで、期間中相互に有機的関連をもって更に効果の上るよう期待し、各事業の無事に終了できることを希望するものである。

さてわれわれが日常仕事として取り組んでいるデザインについて、感じている点を少し述べて見たいと思う。『人間の再発見』という書の中に、……人の話しを聞く場合に、そのままの形で頭の中に入れるのが模倣学習であり、反対に、抽象的な本質にし、これに自分の関心の部面における条件群を入れながら話を聞いていくやり方が創造的学習である、とある。新製品開発には常に、この創造性が100パーセント必要だと思う。模倣的商品や毎日の変化に応じて流行を追うデザインも必要であろうが、私は日本の風土や習慣から、にじみ出た、日本古来より伝承さ

れているわが国独自のオリジナルデザインや加工技術を再検討し、よい点は、どしどし取り入れた商品の開発をする必要があろうかと思う。

昨年後半より石油不足に端を発した物不足により材料の枯渇、人件費の高騰によって、デザインや機能、技術のプラスされない値上げをよぎなくされて消費者の懐を苦しめ、逆に輸入家具を助長するに至り、市場は更に激戦を展開することになった。

節約ムードの74年は、低額商品に於いては、定量の消費は活発化するものと思われるが、中級品の需要配分はどのように変化するかが問題で、高額商品に於いては、更に充実した内容と質の点が要求されることであろう。

また、流行に左右され易い日本人の欲望が、フィリングを楽しむイタリーを始めとするモダン調を好むか、財産的要素をもつクラシックになるか、デザイナーとメーカーは、よく流動する情勢を把握し、対処することが大切だと思う。

メーカーは、多種少量生産に対する高度なオリジナル的加工技術の開発も、日を追って活発化させるであろうし、新製品の開発に当っては、更にデザイナーの協力を得て、オリジナル性に富んだ商品開発を実施するであろう。

このように、74年はデザイナー、メーカー共に質の問われる年になりそうである。

北 陸 よ り

栃 谷 賢 一

そもそも、地方においてインテリアデザインのみを生業とすることは、大変勇気があることだ、と実感させられている私である。生活を確保し、仕事を消化するにはその地方の経済力、民度、需要度、建築家との協力態勢、クライアントの認識度、商業建築の場合の奇抜つきの要求等々、よろず受けたまわりの感覚を持たねばとうてい生計がなりたない。必要悪として妥協せねばならないことがたくさんある。したがって、よほど自己をコントロール出来る能力をもたねばなりたない。

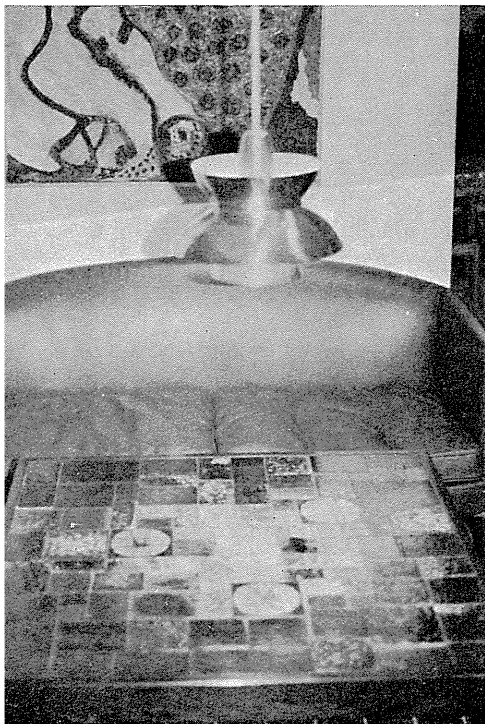
北陸三県の間人を評している言葉に「越中強盗、加賀泥棒、越前詐欺」というのがある。もちろん徳川時代の言葉だが、現在でもたまたま聞くことがある。このような地方の中で感覚とは何かを識らせるには（ペイさせることを前提に）大変時間がかかりそうである。しかし、近年日本列島改造計画による日本海時代の開幕とともに、北陸高速道路の全線開通を数年後にひかえ、北陸新幹線の着工決定等、非常にめまぐるしく変化しつつある現況でそれと共に富山、金沢、福井、とそれぞれの都市が市街地再開発の計画を発表し都市整備に着手している。昨年10月に、金沢武蔵が辻地区の一角がその第1号として完成し、地方都市での市街地再開発のあり方として大変注目されている。そのほか富山、石川、福井と単発的ではあるが注目に値する建物が建てられているものの、エクステリアとインテリアとのバランスから見るとインテリアについていま一步の感がする。

欧州の陶磁器デザイン

瀬 十 記 夫



コペンハーゲン デン・パーマネント  
ショー・ウィンドウとインテリア展示場



さる9月2日より17日間欧州窯業視察団の一員としてデンマーク、チェコスロバキア、イタリア、フランス、イギリスの5ヶ国の陶業地、デザインセンターを訪れた。そこでそれらのデザインについて2〜3の点にふれてみたい。

チェコスロバキアのカロビバレーの陶業地はプラハの西方約200キロにあるが欧州でも古い産地の一つである。

陶磁器の歴史で西暦紀元のところ中国では実用品で質はもろく多孔質の陶器が発達していたが、12世紀になり欧州にも中国より磁器と称する純度の高い白色の無孔質の材料が入ってきた。

この珍品は金と同等の価値のものとされ各国の王室や貴族により尊重されたが、その製法は長く秘密や伝説にとどまっていた。18世紀のはじめ、ドイツのマイセンでその原料の調合が解明され、その材料で約15%のカオリンが含まれると白色となり無孔質になる。

そのころチェコスロバキアにおいてもこのカオリンが発見され、この世紀半ばにカロビバレーの近くにホルニ・スラブマ磁器工場がつくられてはじめて磁器の生産がおこなわれた。やがてそれは国外のロシア、ポーランドなどに輸出され名声をも博すようになった。そしてチェコのボヘミア磁器の伝統の基礎が築かれた。

そのご著名な上絵画家の手により、また銅版やステールの平版の印刷も使われデザイナーの活躍もあって、フランスのセーブル磁器と優秀さにおいて比肩するほど有名になった。そして形状、スタイルでマイセンやバロック調が取り入れられ、新しい食器やカップが多くつくられた。一方プラハの近くに創設された磁器工場も最も古い工場の一つであるが、ここではホテルウエアや陶彫人形の優秀品がつくられた。

19世紀半ばにはボヘミア磁器といわれるものの多くの工場が存在したが、

20世紀に入ってこのカロビバレーに最終的に集中された。したがってここには進歩的な磁器工場が26〜27工場あり多くの上絵付工場もある。このように歴史的な市場や工場から第2次大戦後は1958年に国家的立場からカロビバレー工業組合がそれら工場を統一的に支配するようになった。

そしてそれらの磁器工場はかつての歴史的トレードマークと工場の独立性を保ちながら生産を行っている。輸出も貿易公団で欧州その他の海外貿易を管理して、さらに将来に対する展望や古い伝統の維持のため新工場の建設や新しい企画のための組織の高度な調査研究を行っている。特に1963年には巨大な新工場が完成し、なおついで一工場が計画中である。その工場では商業ベースによる生産のほかモダンデザインの開発もすすめられ、またすぐれた芸術家やデザイナーの手仕事や歴史的なモデルの陶彫のための特別の工場である。それらがチェコスロバキアの磁器製品の第一級品として評価されるようになったのは質の改善と彼らの協力の賜といわれている。

イギリスのロイヤル・ウースター製陶所はロンドンの北北西約200キロにあり、約200年前に創設されたイギリスで現存する最も古い磁器工場である。はじめ中国と日本の古い時代の柿エ門鍋島を模倣し、マイセン磁器、セーブル磁器を倣った。1900年、国王からロイヤルの称号を与えられた。今日の工場では磁器とボーン・チャイナーをつくっている。

品種も陶彫デザイナーウエア、コーヒーセットなどである。1935年、ドロシー・パウダがこの国の鳥を紹介し、自然の中に飛んでいる形がほしいということで、はじめて多くの鳥の陶彫がつくられた。今日ではそれがアメリカのバイヤーのアイデアで新しい鳥のシリーズに発展している。動物の置物でダ

ービの馬や乗馬姿の置物がもっとも有名で、その作品には作品番号が入れられ、1個の価格が50万円といわれ、注文して入手するまで5年ぐらいの年月を必要とされている。

19世紀はじめイギリスでは機械製粗悪の氾濫が著るしくなったため、ウィリアム・モリスたちが自然や手工芸への復帰をとらえてアートアンドクラフトの運動をおこした。そのご欧州各国では工作連盟が結成されて、日常品などの良質化が推進された。今日のクラフトはそれらの思潮の上に発展した。

デンマークのコペンハーゲンにあるデザインセンター デン・パーマメントは、クラフト製品の選定品の展示と即売がおこなわれているが、その主なものは陶磁器、ガラス、宝石、金属、織物とインテリア家具である。その陶磁器のうちクラフト製品の手づくりはバロック調で、強い個性のある形や荒い土肌と、奔放なタッチの絵付けが目立っていた。さいきんこの国の若いクラフトマンのあいだでは日本の浜田庄司の影響があらわれている。

ロイヤル・コペンハーゲン製陶所では、かつて他の北欧3ヶ国より若い女性クラフトマンをまねき、アーズウウェアの製品開発をおこなって成功をおさめた。彼女らは一つの室でそれらの仕事のみに没頭することができた。そして偏見や因襲にとらわれることなく自由な提案を行った。

そのあいだ化学や生産のエンジニアの協力と、この工場でアーズウウェアの仕事で芸術的キャリアの豊かな老化学者より自由に助言を得ることができたため、きわめて短かい年月のうちに500種にのぼるアイテムを完成した。このことの成功の秘密は、彼女らがそれぞれ異った文化はい景をもちながら互に接触しつつ刺激され、各自のインスピレーションを誘発したものといわれている。

イタリアのプリントタイルは、ミラノから高速道路を車で約3時間南下したモデナ地区でつくられている。ここは最近工場地に開発されたところで、工場では成形スクリーン印刷のあと一部は手描を芸術大出の若い女性の手でおこなわれていた。日本画風にタイル1平方メートル大の枠内に花や葉とつるが、彼女らの確かな筆づかいで手速く軽るく描かれていた。作業場も明るくて大変感心させられた。

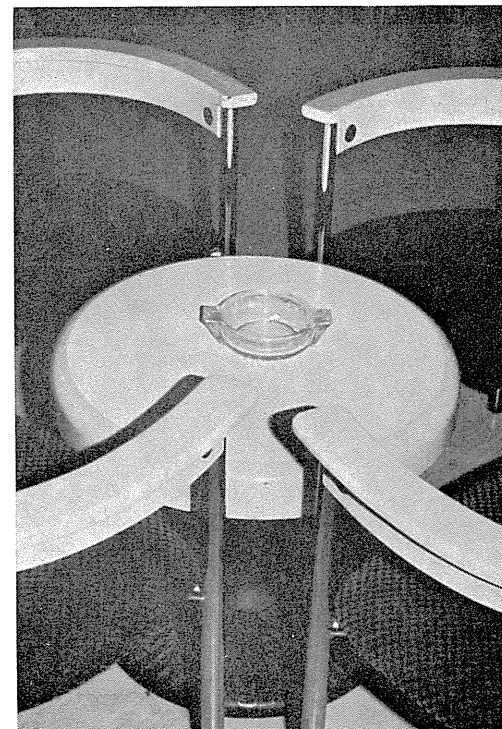
1930年代に欧州では、近代デザインが抬頭しはじめ機械工業による日常品の生産も質的に著るしく向上し、その後の工業社会の成熟で、さらに一層今日の工業デザインにまで発展した。陶磁器生産は、元来手仕事の分野で発展したが、機械化も進んできた。ロイヤル・コペンハーゲン製陶所の食器のモダン・デザインは量産上の生産性はむろん、生活の合理化に呼応して且つ機能的配慮にすぐれ、使用上の融通性も多い。そしてファッションを追うこともない。

ロンドンのCOIDデザインセンターにおける工業製品を中心とした選定品の展示の中で、唯一の陶磁器製品として見出すことでこの感を深くした。それらのデザインは、外部から招かれたデザイナーの手によるもので、ロイヤリティは製品原価の5%が払われている。そのほかに社内では、技術者側の提案も取上げられ、また芸術者と技術者との間の新製品開発のための討議もマネジメントの企画で定期的に行われている。

このような例からデザインが単に外観だけでなく、より本質的な生活への問題追求からはじまっていることもいま一度注目したいのである。



ロンドン ヒースロウ空港  
の電話ボックスとロビー



## ニッポン グッド デザイン ショー

わが国経済のめざましい成長と高度に発達した技術革新は、わたくしたちの生活を豊かにしてきたが、一方、環境破壊や公害など解決しなければならない問題は山積しており、このような状況の中で、精神的にも物質的にもより豊かな生活と健全な社会環境を築くためには、デザインの必要性が高まってきた。

このときにあたり、日本インテリアデザイナー協会中部支部は、さる10月6日から11日までの6日間にわたり愛知県、名古屋市などの主催、通商産業省をはじめ日本商工会議所、日本貿易振興会、デザイン関係団体などの後援をえて愛知県産業貿易館で開催されたニッポングッドデザインショー'73の優秀デザインを集めた総合展示会に、昨年と同じくコスチューム・フラワーデザイン2団体（社団法人日本デザイナークラブ、社団法人日本フラワーデザイナー協会各中部支部）の協力をえて合同展示方式で参加出品した。

'73年は、デザインイヤーとして全国的に多彩な関連事業が展開された年でもあり、このショーに参加して広く一般の人々に対しデザインに対する認識を深め、広く産業デザインの振興に役立ったことであろう。



### 社団法人 日本インテリアデザイナー協会

#### 中部支部出品者

|                |                                     |
|----------------|-------------------------------------|
| 愛知(株)          | 名古屋市東区赤荻町3-8                        |
| (株)カワキチ名古屋出張所  | 名古屋市中区丸の内3-9-28<br>〈東京都新宿区大久保2-223〉 |
| (株)セミカインテリア    | 東京都中央区京橋1-5-9 日高ビル4F                |
| (株)ホウトク        | 名古屋市中区錦2-15-22 協銀ビル                 |
| ヤマギワ電気(株)名古屋支店 | 名古屋市中区新栄町6-9                        |

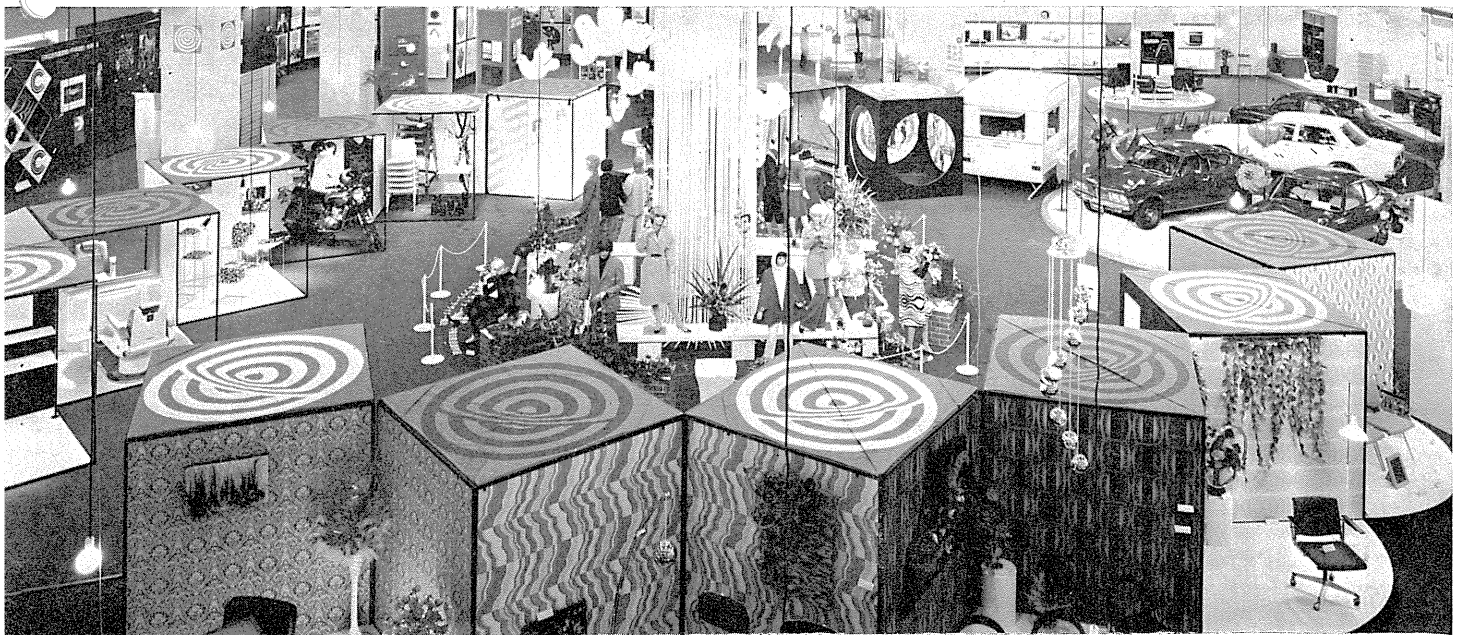
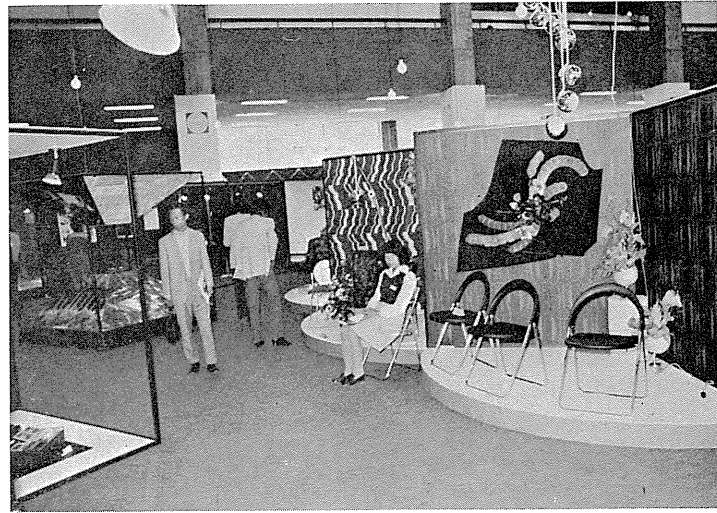
## ニッポン グッド デザイン ショー

### 展示会の特徴

今回の出品商品の特徴としては、デザイナーにあたり、団体の多くは個々にテーマを設定し、イヤー事業の促進に協力し、中でも“きのう、きょう、あした”と題して、同一製品の時代の推移と未来製品の予想パネルを展示した団体、遊びをテーマに会員全員が作品を展示した団体、未来の遊具を提案した団体など意欲的な姿勢がうかがわれた。

商品の傾向としては住宅機器類の展示が多く、フォルムや色彩等感覚に一段と進歩し、特に椅子類には海外製品の流入にともない高級化傾向が見られ、余裕ある生活へ近づいていることが感じられた。なお、本年度出品団体については、当地区で活躍中の若手グラフィックデザイナー団体のあらたな参加があった。

このほか、前記の一昨年来好評のインテリア・コスチューム・フラワーデザイン団体による展示は、さらに出品増をもって充実された。



## 新年会開催

1月21日(月)、東京・農林年金会館にて組織委員会主催により新年会が開催され、参加者40名と盛大に行なわれた。

## 第1期商業施設士セミナー開かる

——楽しい箱根の語らいの中に——

さる2月5日から5泊6日の第1期商業施設士研修セミナーが箱根富士ランドにて開かれる。当協会参加者30名内女性2名は、第1期5回目セミナーに加わり、JCD会員約100名、dd会員約40名とともに。また、研修途中の変更はあったものの、肌寒い雪のちらつく日々やうすもやの富士を仰いで研修また研修。

関西から金沢、中部また高山からとわが会員は期せずして丹前姿の会合を開く第2日目の夜。得意の自己紹介にアルコールも入って楽しいひとときを過ごす。名前だけの会友が顔と心でとけ合った数日間。まさに楽しからずや。

おたがいに商業施設士に期待する言葉あるいは、いささかの不安の言葉。

しかし、研修終了日は、ぬけるような青空。眼下に三島、大瀬崎、駿河湾を一望のもとに眺めながら最後のひとふんばり。建築法規の青本、赤本を片手に、始めて受講生のイスにすわった白髪の老紳士、はたまた少壮のデザイナーや建築士の面々。思えば、早や、わが家の門をたたいているのか。

閉講式。

これからの諸士の御健斗を祈る言葉を後に、小田原へ熱海へと箱根の山を下る。

参加者の言葉の中にもられた研修、いわゆる再教育の意義を強調して熱っぽく語る雰囲気——いつの日にか、協会内部からの会友同志の丹前姿の総会、互いにイスを並べての再教育のチャンス进行しながら西に東に再会を約して別れを惜しむ。参加者皆さんの益々のご健斗を祈る。

(東京支部 尾上記)

——和やかで遅ましい協会活動——

関西支部'73年、約一年間の運営を振返った時、その結果として残ったものは<'73作品展>—デザインイヤー協賛事業—の実行とその記録資料であ

る会員カード、及び会報62号(作品展特集号)の発行に過ぎなかった。これは60数名の会員を持つ関西に於いては些か淋しい結果である事は否めない。

然し、この事については表面的に見過せぬ支部の問題を含んでいると思われる。端的に言って、問題は会員すべてが協会活動に参加し、会員間の交流協力によって如何にその活動を活発化し得るか、ひいては各会員のメリットと協会体質の向上を如何に導き得るかに他ならない。'73年事業計画で支部委員が配慮したのは正にそれであり、具体的には'73作品展を通じ、全員交流の機会を、意見聴取の会合、アンケートの配布、展参加形式の拡大、各担当の設定などを行ったのであった。

然し会報62号、富田支部長の指摘の如く、各種会合、アンケートの出席、回収率が10~20%前後の状況であってみれば、全会員の関西支部に対する総意はどこに霧散したかと問わざるを得ない。

益々難かしい時代を踏まえ、今こそ協会が各自を超えた立場の存在理由を発揮すべきときであり、又それが全会員の意志で可能なきではあるまいか。全員による和やかで遅ましい協会活動が行われる事を希いつつ'74年を迎えるものである。

(関西支部 本田記)

'73年の九州支部の活動の中で主としての行事は初めての理事会が、11月8日、9日に行なわれ東京からも理事長を始め10人の方々の参加で協会発展の一つになったことだと思う。

9日の日には、大川で講演会と河内誠先生の除幕式に、理事の方々も出席され盛大に行なわれた。

さて九州支部での活動状況をお伝えするとすれば会員の増強に勤めて今日にいたっているが、現在では25名程度である。

九州の中でも熊本、大分、佐賀、鹿児島、沖縄の県にはまだ一人の会員もいないのが残念である。この県での会員を一人でも開拓していく事と、今後も会員の増強をはかり協会発展と業界の向上のために頑張っていく覚悟でい

る。

デザイナーとしての仕事は今後尚いっそう巾広く拡大の一途をたどることだと思う。それには一人一人のデザイナーがデザイナーとしての社会的地位向上と社会性に富んだデザイナーとして巡行していかねばならないと思う。

末行をかりて大阪、東京、中部の会員の皆さんで九州に来られる時は是非こちらの支部に立寄られるか電話していただきたい。(九州支部 白川記)

## 賛助会員紹介

朝日木工株式会社 豊川工場  
愛知県豊川市豊川町幾通り15  
豊川 (05338) 6-4171

株式会社 コスガ  
東京都中央区東日本橋2-15-4  
東京 (03) 862-6711

株式会社 天童木工東京支店  
東京都港区芝浜松町2-11  
東京 (03) 432-0401

飛騨産業株式会社  
岐阜県高山市名田町1-82  
高山 (0577) 32-1001

富士ファニチャー株式会社大阪支店  
大阪市福島区上福島北2-89 淀川ビル3F  
大阪 (06) 531-9740

ネコス工業株式会社  
横浜市戸塚区飯島町久保890-1  
横浜 (045) 851-5761

古川工業株式会社  
大阪市大淀区中津浜通4-5  
大阪 (06) 371-0849

株式会社 ホウトク  
名古屋市中区錦2-15 協銀ビル  
名古屋 (052) 201-4101

フランスベッド株式会社  
東京都昭島市中神町1148  
昭島 (0425) 43-2111

株式会社オリエンタル中村百貨店  
名古屋市中区栄3-5-1  
名古屋 (052) 251-2111

株式会社 大丸装本部  
大阪市南区鯉谷中ノ町38  
大阪 (06) 252-0641

国際インテリア株式会社  
東京都豊島区南池袋1-18-21  
東京 (03) 983-9151

株式会社 モダンファニチャーセールス  
東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル  
東京 (03) 211-8351

日本総業株式会社 (エアボン)  
東京都港区麻布飯倉片町10  
東京 (03) 582-3341

**クラレ・インテリヤ株式会社**

東京都港区六本木5-2-1  
東京 (03) 403-9721(代)

**株式会社 ホクサン**

東京都江東区木場3-15-4  
東京 (03) 641-5111

**株式会社 木利屋**

東京都港区新橋3-6-7  
東京 (03) 503-1920

**三好木工株式会社**

東京都文京区湯島4-9-2  
東京 (03) 813-5481

**愛知株式会社**

名古屋市東区赤荻町3-8  
名古屋 (052) 941-6226

**株式会社 寿商店**

東京都千代田区有楽町1-14  
東京 (03) 591-1311

**株式会社 セミカインテリア**

東京都中央区京橋1-5-9 ヒダカビル 4 F  
東京 (03) 562-1961

**チトセ株式会社**

東大阪市玉串町東2-1-1  
東大阪 (0729) 62-1141

**住江織物株式会社東京支店**

東京都港区西新橋3-23-1  
東京 (03) 433-4171

**トーソー株式会社大阪支店**

大阪市城東区古市南通3-20  
大阪 (06) 939-5721

**東洋紡インテリア株式会社**

大阪市北区富田町10 高橋ビル北館  
大阪 (06) 361-6771

**長谷虎紡績株式会社**

大阪市東区横堀2-10  
大阪 (06) 203-5921

**藤井毛織株式会社東京事務所**

東京都中央区日本橋堀留町2-3  
東京 (03) 663-6631

**内一商事株式会社東京営業所**

東京都荒川区東日暮里6-36-12  
東京 (03) 802-4471

**株式会社 カワキチ**

東京都新宿区西大久保2-211  
新宿専門店会館1F~6F  
東京 (03) 209-7001

**株式会社 サンゲツ**

名古屋市西区小舟町2丁目14  
名古屋 (052) 565-1133

**アイカ工業株式会社**

愛知県西春日井郡新川町西堀江2288  
新川清洲 (0560) 40-5311

**住友スリーエム株式会社**

東京都港区赤坂7-1-21  
東京 (03) 403-1111

**東洋ゴム工業株式会社**

大阪市西区江戸堀上通2-5  
大阪 (06) 441-3580・8801

**富国株式会社**

東京都中央区日本橋小伝馬町2-2  
東京 (03) 662-1901

**株式会社 高島屋**

大阪市南区難波新地6-14  
大阪 (06) 631-1101

**株式会社 高島屋東京支店設計部**

東京都中央区日本橋2-4-1 北別館  
東京 (03) 211-4111 内2157

**株式会社 ニック (N I C)**

福岡市中央区天神1-11-17 福岡ビル  
福岡 (092) 77-2234

**株式会社 ハヤミズ家具センター**

東京都台東区下谷2-7-2  
東京 (03) 876-1111

**揖斐川電気工業株式会社建材事業部**

岐阜県大垣市神田町2-1  
大垣 (0584) 81-3111 内線368

**株式会社 トップトーン**

東京都葛飾区東四つ木3-44-15  
東京 (03) 692-9097(代)

**株式会社 佐野紙芸インテリア事業部**

京都府亀岡市曾我部町犬飼馬の上1  
亀岡 (07712) 3-0661~4

**佐治タイル株式会社**

名古屋市北区山田西町3-106  
名古屋 (052) 981-9531

**東濃陶器株式会社**

岐阜県土岐市駄知町1435  
土岐 (05725) 9-3131

**株式会社 アイ・エム・エス**

東京都港区南青山1-11-38  
東京 (03) 402-1855

**株式会社 日建設計**

大阪市東区横堀2-38  
大阪 (06) 203-2361

**株式会社 カフアドハウス**

東京都港区西麻布2-13-12 早野ビル  
東京 (03) 407-2428

**株式会社 竹中工務店東京支店**

東京都千代田区神田錦町1-9  
東京 (03) 294-2111

**株式会社 ファースト東京支社**

東京都港区赤坂4-1-32 赤坂ビル6F  
東京 (03) 585-2046

**株式会社 商園**

東京都渋谷区東1-26-26 富士ビル8F  
東京 (03) 407-8171

**有限会社 フカツ商店**

静岡県静岡市中島390  
静岡 (0542) 82-3681

**株式会社 小川商店**

東京都渋谷区松濤2-18-2  
東京 (03) 460-5779

**株式会社 川島織物東京営業所**

東京都千代田区永田町2-14-2  
山王ランドビル5F  
東京 (03) 580-4511

**株式会社 東光堂書店**

東京都中央区日本橋通1-5 中内ビル  
東京 (03) 272-1966

**日本電気設備株式会社**

大阪府東大阪市花園西町1-14-11  
東大阪 (0729) 61-6321

**松下電工株式会社**

大阪府門真市大字門真1048  
大阪 (06) 908-1131

**ヤマギワ電気株式会社**

東京都千代田区外神田4-1-1  
東京 (03) 253-2111(大代)

**ヤマギワ電気株式会社 名古屋支店**

名古屋市中区新栄町6-9  
名古屋 (052) 931-2111

**共同通信工業株式会社**

東京都千代田区内神田1-17-11  
東京 (03) 292-7671

**株式会社 松坂屋**

名古屋市中区栄三丁目16-1  
名古屋 (052) 251-1111

**株式会社 新宮商行東京支店**

東京都中央区日本橋1-3-13  
東京 (03) 273-7841

**株式会社 フジエテキスタイル**

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-7-12  
東京 (03) 403-3371

**株式会社 アルフレックス ジャパン**

東京都港区北青山3-5-6  
東京 (03) 403-5351

**中央設備エンジニアリング株式会社**

名古屋市中村区笹島町1丁目223  
電話 (052) 582-8201

**日本ビクター株式会社デザイン部**

横浜市神奈川区守屋町3-12  
電話 (045) 441-1291

**内外木材工業株式会社東京支店**

埼玉県入間郡大井町亀久保1150  
電話 (0492) 61-3611

**同社東京支店分室**

東京都千代田区内神田1-14-8  
長谷川第5ビル  
電話 (03) 292-3841~5

**株式会社 三平興業装飾部**

東京都千代田区岩本町1丁目5-13  
電話 (03) 862-6161

**共同印刷株式会社**

東京都文京区小石川4-14-12  
電話 (03) 813-1111 (内線439)

**株式会社 ハック**

東京都文京区目白台2-9-3  
小田急目白台マンション1203  
電話 (03) 945-1089・1789

**山田照明株式会社**

東京都千代田区外神田3丁目16-12  
電話 (03) 253-5151

**鹿島建設株式会社建築設計本部**

東京都千代田区霞ヶ関3-5-2  
電話 (03) 580-1511 (内線5141)

**新 加 入**

**株式会社 森伝**

東京都港区西新橋3-23-6  
電話 (03) 433-4421

- 壁紙は……優しくつつむリリーカラー

(株)カワキチ

東京都新宿区西大久保 2-223

本社 電話(03)209-7004(代)

名古屋出張所 電話(052)962-7456

- 壁・床タイル製造  
輸入高級スペインタイル販売

佐治タイル(株)

愛知県名古屋市北区山田西町 3-106

電話(052)981-9531(代)

- インテリアの可能性を開く壁装材  
……サンゲツクロス

(株)サンゲツ

愛知県名古屋市西区小舟町 2-14

電話(052)565-1133(代)

- 通気性高級内装材……プラスオール  
天然銘木壁装材 ……サンフット

高島(株)

愛知県名古屋市中区栄 5-26-39

電話(052)261-5411(代)

- 住宅機器・インテリア建材の総合商社

タツミ産業(株)

愛知県愛知郡東郷町大字春木字白土 1-1169

電話(052)802-6776

- 外装・床タイル及び洋食器の製造販売

東濃陶器(株)

岐阜県土岐市駄知町 1435

電話(05725)9-3131(代)

- アメリカ・コーラー社製高級衛生陶器

東洋バルブ(株)

東京都中央区日本橋室町 1-18

本社 電話(03)242-3111(代)

名古屋支店 電話(052)582-5111(代)

- 輸入高級金物及び高級木製ドア販売

(株)ナガイ

愛知県名古屋市中川区百船町 4

電話(052)351-1531(代)

- 豊かな住いづくりをリードする信頼  
のマーク……ナプロ

中村合板(株)

愛知県名古屋市港区木場町 6

電話(052)691-1191(代)

- 最も合理化された本格的木造住宅の  
メーカー

ナプコホーム(株)

東京都新宿区四谷 3-5 不動産会館 5 F

本社 電話(03)357-8551(代)

名古屋支店 電話(052)231-1241(代)

- 内装材・住宅設備・雨樋・屋根材・  
照明配線器具等…新しい住いづくり

松下電工(株)

愛知県名古屋市中村区下広井町

電話(052)581-3611(代)

中部営業部

総合インテリアのバイオニア・グループ

## エデックス建築資材研究会

愛知県名古屋市中区栄 4-17-26

〒460 電話(052)241-2650

### 編 集 後 記

一年にわずか1回の会報の編集でありながら、ようやく編集後記を書く段階になった。

この1回の会報は中部地区のJID会員にとって、貴重な記録の場であり発表の場であり、また、全国会員の方々との

交流の場でもあると考えてよいのではな  
らうか、なんとかこの会報を通してよ  
り強い結びつきができないものか、その  
ための特色ある編集をお願いながら、い  
つものまにか時間切れとなってしまったこ  
とを大いに反省している次第である。

お忙しい中で、ご寄稿をいただいた  
り、また編集にあたって下さった方々に  
厚くお礼を申し上げたい。

〈林・若園・池田〉

機関誌・JID Vol.15 No.64 定価 200 円  
昭和49年3月発行 印刷 (株)鈴木活版所  
発行所 財団法人 日本インテリアデザイナー協会  
(〒150)東京都渋谷区神宮前2-3-16建築家会館3F  
振替・東京・76389番 電話 (03) 403-3649

The Japan Interior Designers' Association

発行人・白石勝彦 編集 社団法人 日本インテリアデザイナー協会 会報委員会  
担当事務 川上信二・川崎浩  
委員長 (関東) 尾上孝一●三宅征郎・加藤昂子・光藤俊夫・高田紀久枝・山岸征史・泉修二  
(関西) 本田安治●柏原秀夫 長谷川由紀子  
(中部) 林寅正●八代美智子・若園晃・宇賀敏夫・安藤清  
(九州) 白川雄渾・香川寿一

JAA-Bldg.3-16.2-chome, Jingumae Shibuya-ku, Tokyo, Japan.